

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873700383
法人名	医療法人社団みのり会
事業所名	グループホームまほろば
所在地	愛媛県西予市三瓶町朝立2番耕地1番地7
自己評価作成日	平成21年10月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の健康管理に気をつけ、利用者一人一人が安心して過ごしていただけるよう努めている。
季節の行事を大切にしご家族様へも参加を呼びかけている。
ご家族との関係を大切にするため毎月の手紙を送っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 利用者一人ひとりが、地域とのつながりを持てるよう「敬老会」への出席や、地区公民館の「ふれあい広場」に参加することを支援されている。散歩コースにあるお地藏さんをお参りして、掃除やお供えをされており、地域の人に感謝されている。
- 近くの「海の駅」広場で飼育されている海がめに、餌のキャベツをやりに行くことを楽しみにされている方もある。職員と近くの図書館に出かけ、ご自分でカードでお好きな本を借りて来られる方もいる。ご家族と旅行などにも出かけられる等、利用者ができるだけ戸外に出かけられるように支援されている。
- 調査訪問時、食後は、利用者個々が自分の食器を下膳して洗っておられた。畳のコーナーで座って食事される人や時には居室で一人ゆっくりと食事される人もある。高校生の職場体験の際には、料理と一緒に作りながら作り方を利用者が高校生に教えてあげているような場面もあったようだ。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

グループホームまほろば

(ユニット名)

3Fユニット

記入者(管理者)

氏名

松本和明(ホーム長)
介護職員 平野育美・笹田ヨシ子

評価完了日

H21 年10月1日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			利用者がその人らしい暮らしが続けていけるように支援するための理念を掲げ、職員一同が共有し個々に合わせたケアを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			法人の理念「地域の保健・医療・福祉に貢献するため、職員一丸となって、知識・技術の向上に努める」のもとに、事業所の7つの運営方針のうちの「利用者とスタッフの関係でなく、家族だと思い心のこもった介護を目指します」を理念に掲げておられる。	貴事業所が「地域密着型サービスの事業所」として、どのようなことを目指していくかということについて、全職員で考えてみるような機会にされてはどうだろうか。又、理念をすべての職員で共有して日々取り組んでいけるよう、具体的に話し合うような機会も作ってみてはどうだろうか。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			認知紹介後教室の開催により地域の人に少しでも認知症を理解していただけるように努めている。(今年度も実施予定である)	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			地域の方やご家族の参加を得て、近況報告や運営者との意見交換をし、質問などを受け付け今後のサービス向上に活かせるように取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			事業所では、会議を2か月に1回開催されており「事業所のことを知っていただくよい機会」と捉えて取り組まれている。「認知症の方の対応について」を議題に挙げて管理者が話し質問をお受けしたり、外部評価の結果報告や評価機関からの家族アンケートの集計報告をきっかけにして意見交換もされた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			会議等以外にも、訪問や電話などで連携をとり、助言などを求めるなどし、協力している。	
			(外部評価)	
			市より「認知症介護教室」を受託されており、管理者と職員は、各地区公民館に出向き、教室を開いておられる。介護相談員が来られて、利用者とお話しながら思いを聞いてくださっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			身体拘束について職員が正しく理解し、利用者がのびのびと生活できるように支援している。	
			(外部評価)	
			法人内研修で、身体拘束について勉強されている。資料は全ての職員に回覧し、申し送り時等で身体拘束をしないケアについて話し合われている。玄関、エレベーター、階段の施錠はなく、職員が事故がないように見守っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			防止についての資料などを回覧したり、職員同士で話し合い防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			現在では活用の機会はないが、制度把握のため研修等に参加したりしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			契約時には、利用者のご家族に重要事項等の説明を行い契約内容の理解を図っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			利用者の意見や要望は管理者がきちんと聞いている。ご家族には意見箱を設置しており、面会時などにも積極的に会話をし意見をきき、運営者、管理者又は職員を含め話し合いを行い、運営に反映している。	
			(外部評価)	
			4月に管理者が交代されており、ご家族との関係作りに努めておられる。事業所では、利用者個別に近況報告の手紙や写真を同封されている。事業所で行う芋炊き会は、利用者と職員で準備してご家族を招待された。	運営推進会議の議事録をご家族に送付する等、事業所の取り組みをさらに具体的に伝えて、ご家族からも具体的なご意見を引き出せるよう、工夫されてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			代表者、管理者は職員の意見をきく機会を設け、できる限りの回答をし、可能な限り反映している。	
			(外部評価)	
			「業務改善委員」「行事運営委員」「園芸委員」等の各委員会の職員が中心となって活動の企画をされて、職員会議で報告をされたり話し合われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員の意見を聞き入れ、時には職員へ話をし納得してもらえるように努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内での勉強会に積極的に参加し、スタッフの知識、力量の向上に努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			併設の病院、老人保健施設などにも出向き、勉強会や講習会などに参加し交流や質の向上を図っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			情報をできる限り多く収集し、その人に合ったケアができるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学や相談には時間を多くとり、何でも話せる機会をつくり、質問に回答し説明している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族が必要としている支援を一緒に考え、ニーズにあったサービスが利用できるように対応している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 食事を一緒に作り、話をしながら一緒に食べるなどし、毎日の生活の中で、できないところを支援する体勢をとるようにしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との連絡を密にし、本人からの要望を伝えたりお互いの想いに配慮しながら、よりよい信頼関係を築いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族と連絡をとり、できる限り本人の要望にそえるように努力している。時には会いに行ったり、面会に来ていただいたりしている。 (外部評価) 利用者の友人が訪ねて来てくれたり、お菓子や果物を持って来てくれることもある。ご家族とお墓参りに出かけたり、ご家族が送迎してご自宅の犬の散歩をされる方もある。ご自宅の飲食店が忙しい時には、自宅に帰って皿洗いのお手伝いをされる方もある。病院の受診時に、友人や知人に会うこともある。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			個々の性格、行動を把握し、利用者同士がお互いに関わりをもちやすい環境づくりに努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			現在までに該当者はいないが、契約終了後でも連絡を取り本人、家族が困ったことがあるときにはフォローできるように体勢を整えている。	
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			個々とのコミュニケーションを深め、その人の希望にそった生活が送れるようにニーズの把握に努めている。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者と日々のかかわる中から思いや意向を汲み取るようにされている。居室でテレビを見たり、ラジオを聞いたり、本を読んだり、字の練習もしたいと希望される方や、図書館へ本を借りに行き好きな本を読みたいと希望される方もある。	利用者個々から得た情報を職員で共有するためにも、見やすく、分かりやすいアセスメントの工夫をされてみてはどうだろうか。さらに、ご本人らしく暮らせるための介護計画作成につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			家族やケアマネージャーと連絡を取り、過去、現在の情報収集に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			カルテや日誌等を利用して全職員が把握できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人の日々の生活を観察しニーズをみつけ、家族の思いを取り入れ全職員で話し合いケアプランを作成している。 家族へは書面にて意見をきいている。	
			(外部評価)	
			ご家族へは「介護計画の見直しに伴う意向調査のお願い」を送付して、意見や要望・希望を聞き取っておられ、「散歩や好きな歌を歌ったり、食事の準備で出来ることを声掛けしてさせて欲しい」等のご家族からの希望があり、計画に採り入れておられた。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			日々の気づき、変化、実践などをカルテや日誌に記入し、職員間で情報を共有し、カンファレンス、プランの見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			利用者一人一人の生活を把握し、本人が安心していただけるような馴染みの空間作りをし、時には、ボランティアなど来ていただき楽しく過ごしていただくようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人、家族が希望すれば他の病院への受診も可能で、ま た主治医の紹介状も書いていただける。	
			(外部評価)	
			利用者の多くは、母体病院をかかりつけ医とされてお り、受診時には職員が同行されている。週1回法人の訪 問看護が来て、健康チェックをされている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			週一回の訪問看護により、利用者の健康状態は、把握で きており、変化があれば報告し、アドバイス等を受け対 応している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時には頻回に訪問し、家族、利用者の話を聞き、 ホームに帰ってもすぐに普通に生活できるよう、職員が 利用者の状態を把握、理解し、主治医にも報告してい る。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			終末期まで看取った利用者はいないが、その時々で、病 気になった場合、家族の意見を聞き、主治医の意見も聞 きながら対応できるようにしている。	
			(外部評価)	
			管理者は、折に触れてご本人、ご家族の終末期のあり方 についての意向を聞いておられ、主治医とも相談して、 「ぎりぎりまでホームで過ごしたい」と希望される方 には出来る限りホームで過ごせるように支援されている。 職員は、法人内研修で重度化や終末期の支援について勉 強されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 隣が病院であり24時間、いつでも連絡ができるようにしている。また、訪問看護師の指導、指示により急変時の対応を職員が理解し、また、緊急時の対応マニュアルもできている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 職員各自役割分担を決めており、災害時などにはすぐに対応できるようにしている。 年2回の避難訓練を行い、地域の方にも声かけを行っている。 (外部評価) 消防署の協力を得て、利用者も参加して、階段を使った避難訓練を実施された。消防署のアドバイスで、運営推進会議時、地域の人達へ協力を依頼されており、地域の災害の際には事業所を避難場所として活用いただけることも伝えられた。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 丁寧な言葉遣いだけでなく、利用者一人一人の性格に合わせた言葉を使い、また、居室に入る場合には声かけをして、プライバシーに配慮している。 (外部評価) 事業所では、今年度「言葉使いに気を付ける」ことに取り組まれている。調査訪問時、トイレ誘導の際には、ご本人に分かるような小さな声で声かけして誘導されている様子が見られた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 疑問符によって話しかけ、できる限り希望を表現できるようにしているが、利用者の認知症も進み自己決定が困難になってきている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 何がしたい、何をしようかなど、常に利用者に声かけし、できる限りの自己決定を支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 月一回の主張美容の利用や入浴時には利用者の好きな服を選んでいただくなどしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できるだけ自分で後片付けをしていただいている。調理、盛り付け等ができる利用者には、手伝っていただき、時には好きな献立の時などには利用者に味付けをしていただいたり、各階で、味付けを利用者の好みに合わせている。 (外部評価) 調査訪問時、昼食の準備に大根おろしをされている利用者の方が見られた。食後は、利用者個々がご自分の食器を下膳して洗っておられた。畳のコーナーで座って食事される人や時には居室で一人ゆっくりと食事される人もある。高校生の職場体験の際には、料理と一緒に作りながら作り方を利用者が高校生に教えてあげているような場面もあったようだ。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士によって毎日の献立がつけられている。水分量は、なかなか取りにくい利用者には、声かけを行ったり、飲み物の種類、形を変えるなどして対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る利用者に対しては、声かけ、見守りを行い、出来ない利用者に対しては、職員が、歯ブラシ、ガーゼ等を使用して口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			車椅子使用の利用者には日中、時間をみてのトイレ誘導を行い、できるだけ自分の力で排泄が出来るようにしている。その他の利用者に対しては、随時声かけを行って対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			薬による排泄の調整、散歩などを行って予防に努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			自分で意思表示の出来る利用者に対しては好きな時間に入っていただけるが、他の利用者に対しては、時に職員の都合による時もある。 入浴の好きな利用者に対しては、出来る限りゆっくり入っていただけるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			希望があれば毎日でも入浴出来るようになっている。利用者が「銭湯に出かけるように」居室より、洗面器にタオル、石けん、シャンプーを入れ浴室に行くことを楽しまれている方もある。職員は、入浴支援時、利用者の身体の様子を観察されており、胸のしこりに気付かれて、早期に手術して元気になられ感謝されたような事例もある。	
			(自己評価)	
			昼寝の時間を設けたり、夜は遅くならない程度に、自分の好きな時間で休めるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員が薬の用意をすることにより、副作用等を把握し、変化があった場合にはすぐに対応できるように病院と連携している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の生活歴を参考にし、出来ることの手伝いを考え、縫い物、調理等を行っていただいている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者からの希望はあまり出ることがなく、希望があった時には状況に応じて対応している。家族の方と一緒に出かける際にはいつでも出かけられるように支援している。 (外部評価) 散歩や畑の世話をされたり、近くの「海の駅」広場で飼育されている海がめに、餌のキャベツをやりに行くことを楽しみにされている方もある。職員と近くの図書館に出かけ、ご自分でカードでお好きな本を借りて来られる方もいる。ご家族と旅行などにも出かけられる等、利用者ができるだけ戸外に出かけられるように支援されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分でお小遣いを持ち、買い物に出かけたり、職員に頼んだ場合にはお小遣いより支払いをする時もあるが、現在はほとんどの利用者が持っていない使用機会がない。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 好きな時に、電話をしたり、手紙を書いたりして、時には職員と共に出しに行ったり、また職員が頼まれて出したりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節に応じた飾り付けをしたり、散歩の時などに利用者が取ってきた花を生けたりして、季節を感じることでできるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			居間には、古い家具や利用者が読む本・週刊誌等が置かれていた。畳のコーナーには、利用者が布で作った「まほろば地蔵」が置かれてあり、お花やお供えをされている。お部屋を間違いやすい方の部屋の入り口には、ご本人に分かりやすいよう大きく名前を書いておられた。調査訪問時、ソファに座ってパッチワークをされている方も見られた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			入居時には家族によって居室を装飾していただいたり、出来ない方には、職員が共に行ったりして、いろいろな物を置いたり、飾ったりして、利用者本人の過ごしやすい空間をつくっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			タンス、鏡台、衣装ケース、テレビ、ラジオ、油絵等をご自宅から持ち込まれており、お孫さんからの手紙等も飾られていた。職員は、ご家族の協力を得て利用者の希望も聞きながら居室の飾り付けや衣替えをされている。座椅子や金庫を置いている方もあった。	
55			(自己評価)	
			居室の表札の工夫、トイレ、廊下の手摺の取り付けなど、出来る限り、見守りにて利用者が自由に行動できるようにしている。	